

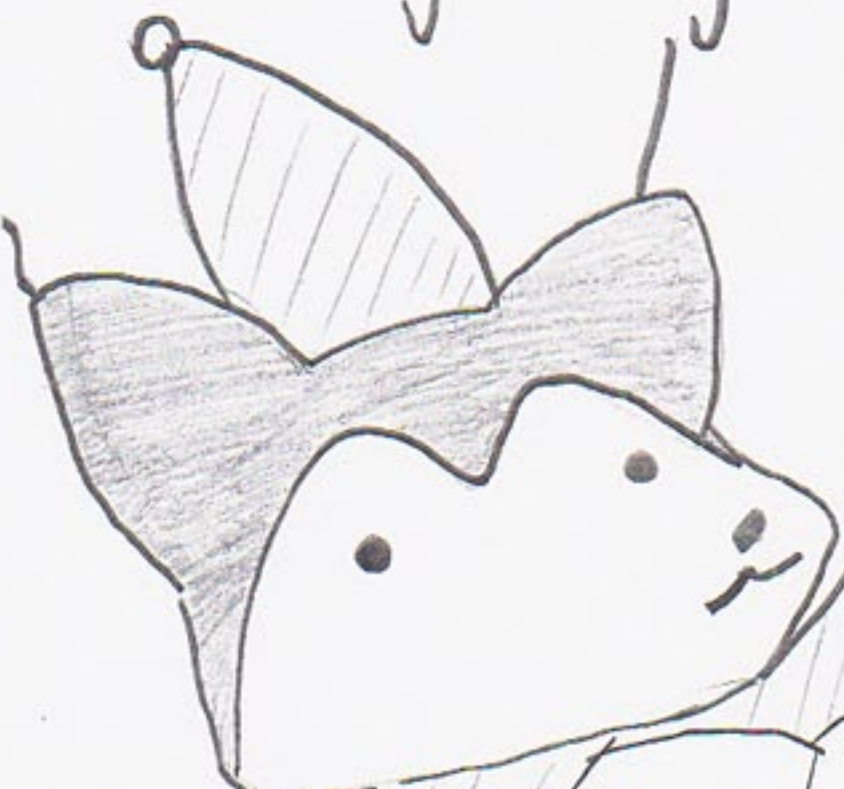


とよたち

美肌通信

10月号

VOL.63





今月号の表紙。

10月のハロウィーンにちなんで、

魔法使いとわんちゃん[🐾]

かぼちゃ達とかわいなおぼけの

にぎやかな糸会です!!!

1円玉をあつめる事や、犬としゃべる事

などが趣味で、愛犬のチリちゃん

が、好きな女の子が描いてください
ました♡♡

院長はじめ、スタッフ一同

びより感謝いたします。

私は昔から辛抱が足りない人間だと思
うことが少なからずありました。今月私は47才に
なりますが、もと若いうちにかなりの辛抱をして
おけば良かったと反省しています。

じっと耐えたければならない時に目先の欲や
誘惑に飛いつき大成の道を閉ざしてきた
と反省しています。

先日、『相田みつを田先生の展覧会を觀に
行って参りました。その中で『^〆受身ー負ける練習ー』
という詩に出会いました。この詩は柔道の受身
を長い人生における困難に例えています。
柔道では敗けることを意味する受身を最初に
教えます。人前で負けること(≡受身)をとことん
練習するので、そして柔道はカッコ良く勝つこと
を教えることはなく素直に転ぶこと・いさぎよく
負けることを最初に教え込ませる。その代わりに
負けても転んでも直ぐに立ち直る、それが受身

の極意だと先生は言っています。それに受身が身につけば達人だと。また、負けることから学べる多くのことを知る様にとおっしゃっています。下積みをたっぷりと体験しその糧を身につけたら本物だと悟っています。これが形成されれば「優い人間」が出来上がるとしめくくっています。

この「受身」という詩に私が心打たれたのは、目先の楽を優先してしまうところが「多かった若かりし自分を思い出したからです。

「若いうちの失敗は恐れるな」という言葉は今まで多く聞いてきたフレーズです。チャレンジしなければ失敗はありませんが、それは同時に大成もないことを意味します。

大成するためには志を持つことです。志があれば「安楽」に流されることはなく無心の自分になれようと思います。

47才になる自分も、あと30〜40年は生きています。

決して遅くはありません。しかし小中学生の様に若くはありません。未来に答えを探すのではなく「今日一日」という「今」にあるのだと思います。今今日一日を「本気の自分で生きること」を積み重ねる。そして振り返った時に自分の道は出来ているものです。

そしてこの世は不条理なことは“かり”です。しかし不条理だからこそ、受身が重要であり直ぐに立ち上からなければ“生きていけない”のです。しかし不条理であるが故にそれを乗り越えた時自分の魂が磨かれるのです。

院長 拝